読め（イクラァ）
ジャーヒリーヤへの処方箋

主の御名によって読む：時代を越えて無知から抜け出す道



HJ CHE ALIM HJ CHE HARON
quranscience.my

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

読め（イクラァ）ージャーヒリーヤへの処方箋

主の御名によって読む：時代を越えて無知から抜け出す道

ٱقْرَأْ بِٱسْمِ رَبِّكَ ٱلَّذِى خَلَقَ

「読め、『創造なされる御方、あなたの主の御名において。」

凝血章 96:1

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売はできません。

謝辞

すべての称賛は、「イクラァ（読め）」と命じ、筆によって教え、人間に未知のことを教えられた主、アッラーに。天から読むことの命令を最初に受けた人、アッラーの使徒 ﷺ の上に、祝福と平安あれ。

この電子書籍を、愛する妻

ZAHARAH MOHD LATIF、

愛する子どもたち

MUHAMMAD HAFIZ、**NOOR HAZWANI**、**ABDUL HAKIM**、**NOOR HIDAYAH**、**NOR AQILA**、**NOR ATIQAH**、

そして義理の息子・娘たち

FAZILAH、**MALEK**、**HANIN**、**FAIRIZAL**、**FIRWAN** に捧げる。

アッラーが私たち皆を、その御名によって読む読み手としてくださり、この知識をイルムン・ユンタファウ・ビヒ ― 役に立つ知識 ― としてくださいますように。

表紙について

この電子書籍の表紙は、闇から光への旅を描いている。背景には夜明けの空の下に岩山がそびえる ― 「イクラァ」という命令が最初に下されたヒラー洞窟のある**ジャバル・アン＝ヌール（光の山）**を思い起こさせる。山腹の洞窟の入り口から金色の光が流れ出し、谷を照らしている。空にはイスラーム幾何学の星模様がかすかに見える ― あらゆる知識がタウヒードのもとに守られていることのしるしである。

左下では、砂漠はまだ暗い影に包まれ、ひび割れて砂に半ば埋もれた石の偶像が見える ― 知識の光が訪れたときに崩れ去る**ジャーヒリーヤ**の象徴である。右下では、光が一つの岩の上に落ち、そこには**カラム**（筆）、文字の書かれた巻物、インク壺が置かれ、そのまわりに緑の草木が芽吹き始めている ― 書き記され守られる知識の象徴である（凝血章 96:4、筆章 68:1）。

谷全体に広がる光の筋は、イクラァが一つの時代だけのものではなく、**時代を越えた**処方箋であることを表している。夜の青がゆっくりと夜明けの金色に変わっていく様子は、読む者の旅 ― アッラーについての無知から、アッラーを知ることへの旅 ― を表している。

目次

読め（イクラァ）ージャーヒリーヤへの処方箋 — 食卓章 5:50、凝血章 96:1–5

1. 最高の目的としての主の御名による読み — 凝血章 96:1、ブハーリー 3、ブハーリー 1

2. 主を知る旅の始まり — 凝血章 96:2、「マン・アラファ・ナフサフ…」

3. 隔てるためではなく、つなぐために読む — 凝血章 96:3、イブン・マージャ 4036、ムスリム 2722

4. 筆（カラム）と読むための媒体の役割 — 凝血章 96:4、筆章 68:1、アフマド 3870

5. 私たちをアッラーのもとへ連れ帰る知識 — 凝血章 96:5、イムラーン家章 3:79、御光章 24:45

参考文献

支援と寄付

色の案内：緑の枠＝クルアーンの節、金色の枠＝ハディース、青の枠＝科学的知見、灰色の枠＝アサル／学者の言葉。下線付きの青い伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者ページが開く。

読め（イクラァ）ージャーヒリーヤへの処方箋

天からアッラーの使徒 ﷺ に最初に下された言葉は、「戦え」でも「統治せよ」でもなく、「礼拝せよ」でさえなかった。最初の言葉は**イクラァ ― 読め**であった。それは、読み書きのできない預言者に、歴史の上で**ジャーヒリーヤ**（無明時代）の社会として知られる人々のただ中で下された。

しかし、クルアーンの言葉におけるジャーヒリーヤとは、単に「読み書きができない」という意味ではない。イスラーム以前のアラブ人は、言葉の雄弁さ、カアバに掲げられた詩、そして商売の巧みさで知られていた。真のジャーヒリーヤとは**アッラーについての無知**であり、それが不正、血統の傲慢、弱者への抑圧、欲望に従う法を生み出す。だからこそクルアーンは、この言葉を単なる一つの時代ではなく、一つの態度を表すために用いている：

食卓章 5:50

أَفَحُكْمَ ٱلْجَٰهِلِيَّةِ يَبْغُونَ ۚ وَمَنْ أَحْسَنُ مِنَ ٱللَّهِ حُكْمًا لِّقَوْمٍ يُوقِنُونَ ﴿٥٠﴾

かれらが求めるのは、無明（時代）の裁判であるのか。だが信心堅固な者にとって、アッラーに優る裁判者があろうか。

日本語訳：三田了一 ― quran.com/5:50

イマーム・イブン・カスィールは、あらゆる善を含むアッラーの裁きに背を向け、人間の作った意見や欲望や慣習へと向かう者を、アッラーは非難しておられると説明する ― ジャーヒリーヤの民がしたように。言い換えれば、ジャーヒリーヤとは、その文明がどれほど高度であろうと、人を主の導きから切り離すあらゆる生き方のことである。タフスィール・イブン・カスィール 5:50

ジャーヒリーヤがどの時代にも再発しうる病であるなら、その薬もまた常に有効でなければならない。凝血章の最初の五節がその処方箋を与えている。**主の御名によって読むこと**（目的）、**自分の創造の起源を知ること**（自覚）、**最も寛大な主**（つ

ながり）、**筆（カラム）**（媒体）、そして**アッラーが教えてくださる知識**（アッラーへの帰還）である。この五つの鍵が、本書の五つの小テーマとなっている。

凝血章 96:1–5

ٱقۡرَأۡ بِٱسۡمِ رَبِّكَ ٱلَّذِي خَلَقَ ١

読め、「創造なされる御方、あなたの主の御名において。

خَلَقَ ٱلۡإِنسَٰنَ مِنۡ عَلَقٍ ٢

―凝血から、人間を創られた。」

ٱقۡرَأۡ وَرَبُّكَ ٱلۡأَكۡرَمُ ٣

読め、「あなたの主は、最高の尊貴であられ、

ٱلَّذِي عَلَّمَ بِٱلۡقَلَمِ ٤

筆によって（書くことを）教えられた御方。

عَلَّمَ ٱلۡإِنسَٰنَ مَا لَمۡ يَعۡلَمۡ ٥

人間に未知なることを教えられた御方である。」

日本語訳：三田了一 ― quran.com/96:1-5

注：本書の科学的知見は、調和の証拠として示すものであり、クルアーンの真実性を「証明」するためのものではない。啓示の真実はそれ自体で成り立つ。科学は暫定的なものであり、常に見直され続ける。

最高の目的としての主の御名による読み

凝血章 96:1

ٱقۡرَأۡ بِٱسۡمِ رَبِّكَ ٱلَّذِي خَلَقَ ١

読め、「創造なされる御方、あなたの主の御名において。

日本語訳：三田了一 — quran.com/96:1

節の解説

啓示の最初の命令は、単に「読め」ではなく、「**あなたの主の御名によって**読め」である。ビスミのバーという文字を、注釈者たちはバー・アル＝イスティアーナ（助けを求めるバー）およびアル＝ムサーハバ（伴うこと）と理解している — アッラーの助けを求めつつ、常にその御名を伴って読むということである。読むことは価値から切り離されたまま放置されてはいない。最初の節から、それは最高の目的、すなわちアッラーを知り、アッラーに仕えることに結びつけられているのである。

選ばれたアッラーの属性にも注目してほしい。アッラズィー・ハラク — 「創造なされた御方」。創造の対象は述べられておらず、あたかもすべてを含むかのようである。だから全宇宙が読むことのできる「書物」となる。カウリーヤの印（啓示）とカウニーヤの印（宇宙）は、どちらも同じ創造主へと導くのである。

信頼される学者たちの解説

イマーム・イブン・カスィールは、これらの節がクルアーンで最初に下された節であり、アッラーが僕たちに授けられた最初の慈悲、最初の恵みであると述べる。そこには人間の創造の始まりについての想起があり、アッラーの寛大さの一つは、人間に未知のことを教えられたことであるという。タフスィール・イブン・カスィール 96:1

シャイフ・アブドゥッラフマーン・サアディーは、この章が預言者性の始まりにアッラーの使徒 ﷺ に最初に下された章であり、そのとき彼はまだ啓典とは何か、信仰とは何かを知らなかったと説明する。そこへジブリール عَلَيْهِ السَّلَامُ が使命を携えて来て、彼に読むよう命じたのである。タフスィール・サアディー 96:1

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』3番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ بُكَيْرٍ، قَالَ حَدَّثَنَا اللَّيْثُ، عَنْ عُقَيْلٍ، عَنِ ابْنِ شِهَابٍ، عَنْ عُرْوَةَ بْنِ الزُّبَيْرِ، عَنْ عَائِشَةَ أُمِّ الْمُؤْمِنِينَ، أَنَّهَا قَالَتْ أَوَّلُ مَا بُدِئَ بِهِ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مِنَ الْوَحْيِ الرُّؤْيَا الصَّالِحَةُ فِي النَّوْمِ، فَكَانَ لاَ يَرَى رُؤْيَا إِلاَّ جَاءَتْ مِثْلَ فَلَقِ الصُّبْحِ، ثُمَّ حُبِّبَ إِلَيْهِ الْخَلاَءُ، وَكَانَ يَخْلُو بِغَارِ حِرَاءٍ فَيَتَحَنَّثُ فِيهِ ـ وَهُوَ التَّعَبُّدُ ـ اللَّيَالِيَ ذَوَاتِ الْعَدَدِ قَبْلَ أَنْ يَنْزِعَ إِلَى أَهْلِهِ، وَيَتَزَوَّدُ لِذَلِكَ، ثُمَّ يَرْجِعُ إِلَى خَدِيجَةَ، فَيَتَزَوَّدُ لِمِثْلِهَا، حَتَّى جَاءَهُ الْحَقُّ وَهُوَ فِي غَارِ حِرَاءٍ، فَجَاءَهُ الْمَلَكُ فَقَالَ اقْرَأْ. قَالَ " مَا أَنَا بِقَارِئٍ ". قَالَ " فَأَخَذَنِي فَغَطَّنِي حَتَّى بَلَغَ مِنِّي الْجَهْدَ، ثُمَّ أَرْسَلَنِي فَقَالَ اقْرَأْ. قُلْتُ مَا أَنَا بِقَارِئٍ. فَأَخَذَنِي فَغَطَّنِي الثَّانِيَةَ حَتَّى بَلَغَ مِنِّي الْجَهْدَ، ثُمَّ أَرْسَلَنِي فَقَالَ اقْرَأْ. فَقُلْتُ مَا أَنَا بِقَارِئٍ. فَأَخَذَنِي فَغَطَّنِي الثَّالِثَةَ، ثُمَّ أَرْسَلَنِي فَقَالَ {اقْرَأْ بِاسْمِ رَبِّكَ الَّذِي خَلَقَ * خَلَقَ الإِنْسَانَ مِنْ عَلَقٍ * اقْرَأْ وَرَبُّكَ الأَكْرَمُ} ". فَرَجَعَ بِهَا رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَرْجُفُ فُؤَادُهُ، فَدَخَلَ عَلَى خَدِيجَةَ بِنْتِ خُوَيْلِدٍ رضى الله عنها فَقَالَ " زَمِّلُونِي زَمِّلُونِي ". فَزَمَّلُوهُ حَتَّى ذَهَبَ عَنْهُ الرَّوْعُ، فَقَالَ لِخَدِيجَةَ وَأَخْبَرَهَا الْخَبَرَ " لَقَدْ خَشِيتُ عَلَى نَفْسِي ". فَقَالَتْ خَدِيجَةُ كَلاَّ وَاللَّهِ مَا يُخْزِيكَ اللَّهُ أَبَدًا، إِنَّكَ لَتَصِلُ الرَّحِمَ، وَتَحْمِلُ الْكَلَّ، وَتَكْسِبُ الْمَعْدُومَ، وَتَقْرِي الضَّيْفَ، وَتُعِينُ عَلَى نَوَائِبِ الْحَقِّ. فَانْطَلَقَتْ بِهِ خَدِيجَةُ حَتَّى أَتَتْ بِهِ وَرَقَةَ بْنَ نَوْفَلِ بْنِ أَسَدِ بْنِ عَبْدِ الْعُزَّى ابْنَ عَمِّ خَدِيجَةَ ـ وَكَانَ امْرَأً تَنَصَّرَ فِي الْجَاهِلِيَّةِ، وَكَانَ يَكْتُبُ الْكِتَابَ الْعِبْرَانِيَّ، فَيَكْتُبُ مِنَ الإِنْجِيلِ بِالْعِبْرَانِيَّةِ مَا شَاءَ اللَّهُ أَنْ يَكْتُبَ، وَكَانَ شَيْخًا كَبِيرًا قَدْ عَمِيَ ـ فَقَالَتْ لَهُ خَدِيجَةُ يَا ابْنَ عَمِّ اسْمَعْ مِنَ ابْنِ أَخِيكَ. فَقَالَ لَهُ وَرَقَةُ يَا ابْنَ أَخِي مَاذَا تَرَى فَأَخْبَرَهُ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم خَبَرَ مَا رَأَى. فَقَالَ لَهُ وَرَقَةُ هَذَا النَّامُوسُ الَّذِي نَزَّلَ اللَّهُ عَلَى مُوسَى صلى الله عليه وسلم يَا لَيْتَنِي فِيهَا جَذَعًا، لَيْتَنِي أَكُونُ حَيًّا إِذْ

يُخْرِجُكَ قَوْمُكَ. فَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " أَوَمُخْرِجِيَّ هُمْ ". قَالَ نَعَمْ، لَمْ يَأْتِ رَجُلٌ قَطُّ بِمِثْلِ مَا جِئْتَ بِهِ إِلاَّ عُودِيَ، وَإِنْ يُدْرِكْنِي يَوْمُكَ أَنْصُرْكَ نَصْرًا مُؤَزَّرًا. ثُمَّ لَمْ يَنْشَبْ وَرَقَةُ أَنْ تُوُفِّيَ وَفَتَرَ الْوَحْىُ.

日本語訳：

信仰者たちの母アーイシャ رضى الله عنها は言った。アッラーの使徒ﷺに下った啓示の始まりは、眠りの中の真実の夢であった。彼が見る夢はすべて、夜明けの光のように明らかに実現した。それから彼には独りになることが好ましく思えるようになった。彼はヒラー洞窟にこもり、家族のもとへ帰る前に幾晩もそこで崇拝（タハンヌス）を行い、そのための食糧を携えて行った。それからハディージャのもとへ戻り、また同じ期間のための食糧を携えて行った。そうしてヒラー洞窟にいるときに、真理が彼のもとに訪れた。天使が彼のもとに来て言った。「読め！」彼は答えた。「私は読む者ではありません。」彼は言われた。「すると彼は私をつかみ、私が疲れ果てるまで強く抱きしめ、それから放して言った。『読め！』私は答えた。『私は読む者ではありません。』すると彼は二度目に私をつかみ、疲れ果てるまで強く抱きしめ、それから放して言った。『読め！』私は答えた。『私は読む者ではありません。』すると彼は三度目に私をつかみ、それから放して言った。『読め、創造なされたあなたの主の御名によって。一凝血から人間を創られた。読め、あなたの主は最高の尊貴であられる。』」アッラーの使徒ﷺは胸を震わせながらこれらの節を携えて帰り、フワイリドの娘ハディージャ رضى الله عنها のもとに入って言われた。「私を覆ってくれ、私を覆ってくれ。」人々は彼の恐れが去るまで彼を覆った。彼はハディージャに出来事を語り、「私は自分の身が心配だ」と言われた。ハディージャは言った。「決してそんなことはありません！アッラーにかけて、アッラーはあなたを決して辱められません。あなたは親族の絆を結び、弱い者の重荷を担い、持たざる者に与え、客人をもてなし、真理のために災難に遭った人を助けておられます。」それからハディージャは彼を、自分のいとこであるワラカ・イブン・ナウファル・イブン・アサド・イブン・アブドゥルウッザーのもとへ連れて行ったージャーヒリーヤの時代にキリスト教徒となり、ヘブライ文字を書くことができ、アッラーが望まれるだけ福音書をヘブライ語で書き写していた人で、盲目となった老人であった。ハディージャは彼に言った。「いとこよ、あなたの甥の話を聞いてください。」ワラカは尋ねた。「甥よ、何を見たのか？」アッラーの使徒ﷺは見たことを語った。ワラカは言った。「これこそ、アッラーがムーサーに下されたナームース（ジブリール）であ

る。その時、私が若ければよかったのに。あなたの民があなたを追い出すとき、私が生きていればよかったのに。」アッラーの使徒 ﷺ は尋ねた。「彼らは私を追い出すのですか？」ワラカは答えた。「そうだ。あなたがもたらしたようなものを携えて来た者で、敵視されなかった者は一人もいない。もし私があなたのその日に生きていれば、力強くあなたを助けよう。」それから間もなくワラカは亡くなり、啓示もしばらく途絶えた。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ヤフヤー・イブン・ブカイル ← ライス・イブン・サアド ← ウカイル・イブン・ハーリド ← イブン・シハーブ・ズフリー ← ウルワ・イブン・ズバイル ← アーイシャ رضى الله عنها。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「啓示の始まりの書」（キターブ・バドゥ・アル＝ワフイ）、ハディース 3 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正） ― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録（イマーム・ムスリムも 160 番で伝えている）。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:3

啓示の始まりのハディースについての解説

イマーム・イブン・ハジャル・アスカラーニーは『ファトフ・アル＝バーリー』において、ジブリール عَلَيْهِ السَّلَامُ がアッラーの使徒 ﷺ を三度強く抱きしめた英知について、学者たちの見解を引用している。それは、彼の注意を他のすべてから空にして、これから伝えられることに完全に集中させるため、そして啓示という信託の真剣さと重さを示すためであった。教訓は明らかである ― 偉大な知識には、完全に向き合う心が必要なのである。

アッラーの使徒 ﷺ の答え「マー・アナ・ビ・カーリゥ」（私は読む者ではありません）は、真の読む力がアッラーから来ることを示している。そして、ハディージャ رضى الله عنها がどのように彼を落ち着かせたかを見てほしい。賢さによってではなく、彼の**人柄** ― 親族の絆を結び、弱い者を助け、客人をもてなすこと ― を挙げることによってであった。ここにイクラァの始まりが良い人柄と出会う。主の御名によって読むことは、人々を思いやる人間を生み出すのである。

ハディース一『サヒーフ・ブハーリー』1番

حَدَّثَنَا الْحُمَيْدِيُّ عَبْدُ اللَّهِ بْنُ الزُّبَيْرِ ، قَالَ : حَدَّثَنَا سُفْيَانُ ، قَالَ : حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ سَعِيدٍ الْأَنْصَارِيُّ ، قَالَ : أَخْبَرَنِي مُحَمَّدُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ التَّيْمِيُّ ، أَنَّهُ سَمِعَ عَلْقَمَةَ بْنَ وَقَّاصٍ اللَّيْثِيَّ ، يَقُولُ : سَمِعْتُ عُمَرَ بْنَ الْخَطَّابِ رَضِيَ اللَّهُ عَنْهُ عَلَى الْمِنْبَرِ، قَالَ : سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ، يَقُولُ : " إِنَّمَا الْأَعْمَالُ بِالنِّيَّاتِ، وَإِنَّمَا لِكُلِّ امْرِئٍ مَا نَوَى، فَمَنْ كَانَتْ هِجْرَتُهُ إِلَى دُنْيَا يُصِيبُهَا أَوْ إِلَى امْرَأَةٍ يَنْكِحُهَا، فَهِجْرَتُهُ إِلَى مَا هَاجَرَ إِلَيْهِ "

日本語訳：

アルカマ・イブン・ワッカース・ライスィーは言った。私はウマル・イブン・ハッターブ رضى الله عنه が説教壇の上でこう言うのを聞いた。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。「行いはただ意図によるものであり、人は自分が意図したものだけを得る。だから、手に入れたい現世のもの、あるいは結婚したい女性のために移住した者は、その移住は彼が目指したもののためのものとなる。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：フマイディー（アブドゥッラー・イブン・ズバイル）← スフヤーン・イブン・ウヤイナ ← ヤフヤー・イブン・サイード・アンサーリー ← ムハンマド・イブン・イブラーヒーム・タイミー ← アルカマ・イブン・ワッカース・ライスィー ← ウマル・イブン・ハッターブ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「啓示の始まりの書」、「アッラーの使徒 ﷺ への啓示はどのように始まったか」の章、ハディース1番に伝える。

判定：サヒーフ（真正）ー『サヒーフ・ブハーリー』の冒頭のハディース。イマーム・ムスリムも伝えている（1907番）。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:1

意図のハディースについての解説

イマーム・ブハーリーは意図的に自身の『サヒーフ』をこのハディースで始めた。**アブドゥッラフマーン・イブン・マフディー**は、書物を著そうとする者は、知識を求める者が意図を正すための戒めとして、このハディースから書き始めるべきだと言った。**イマーム・シャーフィイー**は、このハディースがフィクフの七十の章に関わると述べており、**イマーム・ナワウィー**が『四十ハディース』の注釈でそれを引

用している。イクラァの文脈において、このハディースは「あなたの主の御名によって」の実践的な解説である。同じ読みでも、読む者の意図によって、崇拝にもなれば、単なる現世の利得にもなるのである。

科学的知見：読むことは脳の構造を変える

Dehaene ら（2010）は、読み書きの水準が異なる 63 人の成人 ― 読み書きのできない人、大人になってから読むことを学んだ人、子どもの頃から読み書きのできる人 ― の脳を画像化した。その結果、識字は文字に対する左紡錘状回の反応を強め、視覚的反応を一次視覚野（V1）にまで広げ、言語音の処理を強めることがわかった。さらに重要なのは、これらの変化の多くが、大人になってから読むことを学び始めた場合でも起こっていたことである。四十歳のアッラーの使徒 ﷺ に下った「イクラァ」という命令は、人間の脳が読むことによって形づくられるのに遅すぎることは決してないという事実と調和している。

研究文献：

Dehaene S et al. (2010). How learning to read changes the cortical networks for vision and language. Science 330(6009):1359–1364. https://doi.org/10.1126/science.1194140

主を知る旅の始まり

凝血章 96:2

خَلَقَ ٱلۡإِنسَٰنَ مِنۡ عَلَقٍ ۝٢

—凝血から、人間を創られた。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/96:2

節の解説

アッラーを一般に「創造なされた御方」として紹介した後、第二節はすぐに一つの被造物を特定する。**人間**と、その起源であるアラク — しがみつき、依存するもの — である。あたかもアッラーが「まず自分自身を読むことから始めよ」と言われているかのようである。人間に最初に手渡された読み物は、自らの創造の物語であり、自分が弱いものから始まり、完全に主に依存しているという戒めなのである。

信頼される学者たちの解説

イマーム・イブン・カスィールは、この節がアラカからの人間の創造の始まりについての戒めを含み、アッラーの寛大さの一つは、そのような始まりを持つ被造物を知識によって尊ばれたことだと説明する — それこそがアーダム عَلَيْهِ السَّلَامُ を天使たちから区別した栄誉である。注釈者たちはまた、一般的な創造の後に人間が特に挙げられているのは、人間こそが尊ばれ、啓示の責任を負わされた存在だからだと説明している。タフスィール・イブン・カスィール 96:2 · タフスィール・クルトゥビー 96:2

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』3208 番

حَدَّثَنَا الْحَسَنُ بْنُ الرَّبِيعِ، حَدَّثَنَا أَبُو الأَحْوَصِ، عَنِ الأَعْمَشِ، عَنْ زَيْدِ بْنِ وَهْبٍ، قَالَ عَبْدُ اللَّهِ حَدَّثَنَا رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم وَهْوَ الصَّادِقُ الْمَصْدُوقُ قَالَ " إِنَّ أَحَدَكُمْ

يُجْمَعُ خَلْقُهُ فِي بَطْنِ أُمِّهِ أَرْبَعِينَ يَوْمًا، ثُمَّ يَكُونُ عَلَقَةً مِثْلَ ذَلِكَ، ثُمَّ يَكُونُ مُضْغَةً مِثْلَ ذَلِكَ، ثُمَّ يَبْعَثُ اللَّهُ مَلَكًا، فَيُؤْمَرُ بِأَرْبَعِ كَلِمَاتٍ، وَيُقَالُ لَهُ اكْتُبْ عَمَلَهُ وَرِزْقَهُ وَأَجَلَهُ وَشَقِيٌّ أَوْ سَعِيدٌ. ثُمَّ يُنْفَخُ فِيهِ الرُّوحُ، فَإِنَّ الرَّجُلَ مِنْكُمْ لَيَعْمَلُ حَتَّى مَا يَكُونُ بَيْنَهُ وَبَيْنَ الْجَنَّةِ إِلاَّ ذِرَاعٌ، فَيَسْبِقُ عَلَيْهِ كِتَابُهُ، فَيَعْمَلُ بِعَمَلِ أَهْلِ النَّارِ، وَيَعْمَلُ حَتَّى مَا يَكُونُ بَيْنَهُ وَبَيْنَ النَّارِ إِلاَّ ذِرَاعٌ، فَيَسْبِقُ عَلَيْهِ الْكِتَابُ، فَيَعْمَلُ بِعَمَلِ أَهْلِ الْجَنَّةِ ".

日本語訳：

ザイド・イブン・ワフブは言った。アブドゥッラー（イブン・マスウード）رضى الله عنه は言った。真実を語り、真実と認められた御方であるアッラーの使徒 ﷺ は私たちに語られた。「あなたがたの各人の創造は、母の胎内で四十日間集められ、それから同じ期間アラカとなり、それから同じ期間ムドガ（肉片）となる。それからアッラーは四つの言葉を命じられた天使を遣わし、彼に言われる。その者の行い、糧、寿命、そして不幸な者か幸福な者かを書け、と。それから魂が吹き込まれる。まことに、あなたがたのある者は、天国との間がわずか一腕尺になるまで行いを重ねるが、書かれたものが彼に先んじ、火獄の民の行いをしてしまう。また（ある者は）火獄との間がわずか一腕尺になるまで行いを重ねるが、書かれたものが彼に先んじ、天国の民の行いをするのである。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ハサン・イブン・ラビーウ ← アブー・ル＝アフワス ← アアマシュ ← ザイド・イブン・ワフブ ← アブドゥッラー・イブン・マスウード رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「創造の始まりの書」、「天使についての言及」の章、ハディース 3208 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正） ― ムッタファク・アライヒ（『サヒーフ・ムスリム』2643 番にもある）。ナワウィーの『四十ハディース』の第四ハディース。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:3208

創造の段階のハディースについての解説

イブン・ラジャブ・ハンバリーは『ジャーミウ・アル＝ウルーム・ワ・アル＝ヒカム』（『四十ハディース』第四ハディースの注釈）において、ヌトファ、アラカ、ムドガの段階を含めてこのハディースを詳しく解説し、その最大の教訓を強調して

いる。行いはその結末によって評価される。だから信仰者は自分の行いに惑わされてはならず、常に良い最期（フスヌ・ル＝ハーティマ）を願わなければならない。起源についての知識は結末についての知識へと導き、その両方が人をアッラーのもとへ連れ戻すのである。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』1385 番

حَدَّثَنَا آدَمُ، حَدَّثَنَا ابْنُ أَبِي ذِئْبٍ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، عَنْ أَبِي سَلَمَةَ بْنِ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ قَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم " كُلُّ مَوْلُودٍ يُولَدُ عَلَى الْفِطْرَةِ، فَأَبَوَاهُ يُهَوِّدَانِهِ أَوْ يُنَصِّرَانِهِ أَوْ يُمَجِّسَانِهِ، كَمَثَلِ الْبَهِيمَةِ تُنْتَجُ الْبَهِيمَةَ، هَلْ تَرَى فِيهَا جَدْعَاءَ ."

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。預言者 ﷺ は言われた。「生まれる子はみな、フィトラ（天性）の上に生まれる。そしてその両親が彼をユダヤ教徒、キリスト教徒、あるいはゾロアスター教徒にするのである。家畜が完全な子を産むように。あなたがたはその中に（耳などを）切り取られたものを見るだろうか？」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アーダム・イブン・アビー・イヤース ← イブン・アビー・ズィウブ ← ズフリー ← アブー・サラマ・イブン・アブドゥッラフマーン ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「葬儀の書」、「多神教徒の子どもたちについて言われていること」の章、ハディース 1385 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正） ― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録（『サヒーフ・ムスリム』2658 番にもある）。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:1385

学者たちは、フィトラとはタウヒードを知り受け入れる生来の備えであると説明する。これはビザンチン章 30:30 のアッラーの御言葉と調和している。だから主を知る旅とは、実は本来のフィトラへの帰還の旅なのである ― それを覆うジャーヒリーヤの層を取り除いていく旅である。

「マン・アラファ・ナフサフ・ファカド・アラファ・ラッバフ」

مَنْ عَرَفَ نَفْسَهُ فَقَدْ عَرَفَ رَبَّهُ

「自分自身を知る者は、自分の主を知る」という言葉は、スーフィズムの世界で非常によく知られ、しばしば預言者 ﷺ の言葉であるかのように引用される。学問的正確さのために、**これは預言者 ﷺ のハディースではない**ことを正直に述べておかなければならない：

- **アブー・ル＝ムザッファル・サムアーニー**は ― **サハーウィー**が『アル＝マカースィド・アル＝ハサナ』で引用しているように ― これはマルフーウのハディース（預言者 ﷺ からのもの）としては知られておらず、禁欲の人**ヤフヤー・イブン・ムアーズ・ラーズィー**の言葉として伝えられているにすぎないと述べた。
- **イマーム・ナワウィー**は「ライサ・ビ・サービト」（確立されていない）と言い、**スユーティー**もこの見解に同意した。
- **イブン・タイミーヤ**はハディースとしてはこれを捏造（マウドゥーウ）と判定したと、**ムッラー・アリー・カーリー**が著書『アル＝マウドゥーアート』で伝えている。
- **シャイフ・アルバーニー**は『アッ＝スィルスィラ・アッ＝ダイーファ』（第 1 巻）で「ラー・アスラ・ラフ」―（ハディースとしての）根拠はない―と述べている。

しかし、その**意味**はクルアーンと調和するかたちで理解することができ、多くの学者たちがそうしてきた。人が自分を**弱く、貧しく、依存し、新たに生じた**被造物として知るとき、彼は自分の主を**全能者、満ち足りた御方、自存者、始めなき御方**として知る。自分を知ることは扉であって、目的地ではない。クルアーン自身が、人間に自分自身を読むよう呼びかけている：

撒き散らすもの章 51:20–21

وَفِي ٱلۡأَرۡضِ ءَايَٰتٞ لِّلۡمُوقِنِينَ ٢٠

地上には信心深い者たちへの種々の印があり、

وَفِيٓ أَنفُسِكُمۡۚ أَفَلَا تُبۡصِرُونَ ٢١

またあなたがた自身の中にもある。それでもあなたがたは見ようとしないのか。

日本語訳：三田了一 — quran.com/51:20-21

イマーム・イブン・カスィールは、人間自身の中に、その創造主の英知を示す印があると説明する — 言語、肌の色、考え、能力の多様さ、そして体の各部の驚くべき配置である。タフスィール・イブン・カスィール 51:21

解明章 41:53

سَنُرِيهِمۡ ءَايَٰتِنَا فِي ٱلۡأٓفَاقِ وَفِيٓ أَنفُسِهِمۡ حَتَّىٰ يَتَبَيَّنَ لَهُمۡ أَنَّهُ ٱلۡحَقُّۗ أَوَلَمۡ يَكۡفِ بِرَبِّكَ أَنَّهُۥ عَلَىٰ كُلِّ شَيۡءٖ شَهِيدٌ ٥٣

われは、わが印が真理であることが、かれらに明白になるまで、（遠い）空の彼方において、またかれら自身の中において（示す）。本当にあなたがたの主は、凡てのことの立証者であられる。そのことだけでも十分ではないか。

日本語訳：三田了一 — quran.com/41:53

この節は二つの「書物」を結びつけている。アル＝アーファーク（宇宙の地平）とアンフスィヒム（人間自身）である。その両方が真理の印を明らかにし続けると約束されている — この約束によって、宇宙と人体についてのあらゆる科学的発見が、アッラーへと導く読み物となるのである。

集合章 59:19

وَلَا تَكُونُواْ كَٱلَّذِينَ نَسُواْ ٱللَّهَ فَأَنسَىٰهُمۡ أَنفُسَهُمۡۚ أُوْلَٰٓئِكَ هُمُ ٱلۡفَٰسِقُونَ ١٩

あなたがたは、アッラーを忘れた者のようであってはならない。かれは、かれら自身の魂を忘れさせたのである。これらの者はアッラーの掟に背く者たちである。

日本語訳：三田了一 — quran.com/59:19

この節はその裏側であり、先ほどのスーフィーの言葉よりも正確である。**アッラーを忘れる者を、アッラーは自分自身を忘れさせられる。イマーム・イブン・カスィール**は、彼らが自分たちのためになる善行を行うことを忘れさせられたと解釈している。これがジャーヒリーヤの実相である。アッラーについての無知が、自分自身についての無知を生むのである。タフスィール・イブン・カスィール 59:19

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』2577A番（ハディース・クドゥスィー）

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ بَهْرَامَ الدَّارِمِيُّ، حَدَّثَنَا مَرْوَانُ، - يَعْنِي ابْنَ مُحَمَّدٍ الدِّمَشْقِيَّ - حَدَّثَنَا سَعِيدُ بْنُ عَبْدِ الْعَزِيزِ، عَنْ رَبِيعَةَ بْنِ يَزِيدَ، عَنْ أَبِي إِدْرِيسَ الْخَوْلَانِيِّ، عَنْ أَبِي ذَرٍّ، عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم فِيمَا رَوَى عَنِ اللَّهِ، تَبَارَكَ وَتَعَالَى أَنَّهُ قَالَ " يَا عِبَادِي إِنِّي حَرَّمْتُ الظُّلْمَ عَلَى نَفْسِي وَجَعَلْتُهُ بَيْنَكُمْ مُحَرَّمًا فَلاَ تَظَالَمُوا يَا عِبَادِي كُلُّكُمْ ضَالٌّ إِلاَّ مَنْ هَدَيْتُهُ فَاسْتَهْدُونِي أَهْدِكُمْ يَا عِبَادِي كُلُّكُمْ جَائِعٌ إِلاَّ مَنْ أَطْعَمْتُهُ فَاسْتَطْعِمُونِي أُطْعِمْكُمْ يَا عِبَادِي كُلُّكُمْ عَارٍ إِلاَّ مَنْ كَسَوْتُهُ فَاسْتَكْسُونِي أَكْسُكُمْ يَا عِبَادِي إِنَّكُمْ تُخْطِئُونَ بِاللَّيْلِ وَالنَّهَارِ وَأَنَا أَغْفِرُ الذُّنُوبَ جَمِيعًا فَاسْتَغْفِرُونِي أَغْفِرْ لَكُمْ يَا عِبَادِي إِنَّكُمْ لَنْ تَبْلُغُوا ضُرِّي فَتَضُرُّونِي وَلَنْ تَبْلُغُوا نَفْعِي فَتَنْفَعُونِي يَا عِبَادِي لَوْ أَنَّ أَوَّلَكُمْ وَآخِرَكُمْ وَإِنْسَكُمْ وَجِنَّكُمْ كَانُوا عَلَى أَتْقَى قَلْبِ رَجُلٍ وَاحِدٍ مِنْكُمْ مَا زَادَ ذَلِكَ فِي مُلْكِي شَيْئًا يَا عِبَادِي لَوْ أَنَّ أَوَّلَكُمْ وَآخِرَكُمْ وَإِنْسَكُمْ وَجِنَّكُمْ كَانُوا عَلَى أَفْجَرِ قَلْبِ رَجُلٍ وَاحِدٍ مَا نَقَصَ ذَلِكَ مِنْ مُلْكِي شَيْئًا يَا عِبَادِي لَوْ أَنَّ أَوَّلَكُمْ وَآخِرَكُمْ وَإِنْسَكُمْ وَجِنَّكُمْ قَامُوا فِي صَعِيدٍ وَاحِدٍ فَسَأَلُونِي فَأَعْطَيْتُ كُلَّ إِنْسَانٍ مَسْأَلَتَهُ مَا نَقَصَ ذَلِكَ مِمَّا عِنْدِي إِلاَّ كَمَا يَنْقُصُ الْمِخْيَطُ إِذَا أُدْخِلَ الْبَحْرَ يَا عِبَادِي إِنَّمَا هِيَ أَعْمَالُكُمْ أُحْصِيهَا لَكُمْ ثُمَّ أُوَفِّيكُمْ إِيَّاهَا فَمَنْ

وَجَدَ خَيْرًا فَلْيَحْمَدِ اللَّهَ وَمَنْ وَجَدَ غَيْرَ ذَلِكَ فَلاَ يَلُومَنَّ إِلاَّ نَفْسَهُ " . قَالَ سَعِيدٌ كَانَ أَبُو إِدْرِيسَ الْخَوْلاَنِيُّ إِذَا حَدَّثَ بِهَذَا الْحَدِيثِ جَثَا عَلَى رُكْبَتَيْهِ .

日本語訳：

アブー・ザッル رضى الله عنه は、預言者 ﷺ が祝福され至高なるアッラーから伝えられたこととして、アッラーがこう言われたと伝えた。「わがしもべたちよ、われは自らに不正を禁じ、あなたがたの間でもそれを禁じた。だから互いに不正をしてはならない。わがしもべたちよ、あなたがたは皆迷っている、われが導く者を除いて。だからわれに導きを求めよ、そうすればわれはあなたがたを導こう。わがしもべたちよ、あなたがたは皆飢えている、われが食べさせる者を除いて。だからわれに食べ物を求めよ、そうすればわれはあなたがたに食べさせよう。わがしもべたちよ、あなたがたは皆裸である、われが着せる者を除いて。だからわれに衣を求めよ、そうすればわれはあなたがたに着せよう。わがしもべたちよ、あなたがたは夜も昼も過ちを犯すが、われはすべての罪を赦す。だからわれに赦しを求めよ、そうすればわれはあなたがたを赦そう。わがしもべたちよ、あなたがたがわれに害を与えようとしても決してできず、われに益を与えようとしても決してできない。わがしもべたちよ、たとえあなたがたの最初の者から最後の者まで、人間もジンも、皆があなたがたの中で最も敬虔な者の心のようであったとしても、それはわが王権を少しも増しはしない。わがしもべたちよ、たとえあなたがたの最初の者から最後の者まで、人間もジンも、皆が最も邪悪な者の心のようであったとしても、それはわが王権を少しも減らしはしない。わがしもべたちよ、たとえあなたがたの最初の者から最後の者まで、人間もジンも、一つの平原に立ってわれに願い、われが各人にその願うものを与えたとしても、それはわが手元にあるものを、針を海に浸したときに（海の水が）減るほどにしか減らさない。わがしもべたちよ、それはただあなたがたの行いであり、われはそれをあなたがたのために数え、それから完全に報いるのである。だから善を見出した者はアッラーを称えよ。それ以外を見出した者は、自分自身以外を責めてはならない。」サイード（イブン・アブドゥルアズィーズ）は言った。アブー・イドリース・ハウラーニーはこのハディースを伝えるとき、膝をついて座ったものだった。

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：アブドゥッラー・イブン・アブドゥッラフマーン・ダーリミー ← マルワーン・イブン・ムハンマド・ディマシュキー ← サイード・イ

ブン・アブドゥルアズィーズ ← ラビーア・イブン・ヤズィード ← アブー・イドリース・ハウラーニー ← アブー・ザッル・ギファーリー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「善行・礼儀・親族の絆の書」、「不正の禁止」の章、ハディース 2577a 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正） ― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。ナワウィーの『四十ハディース』の第 24 ハディース。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2577a

アブー・ザッルのハディース・クドゥスィーについての解説

このハディースは、自分を知るための最も明らかな「鏡」である。あなたがたは皆迷っている…飢えている…裸である…夜も昼も過ちを犯す。人間の弱さの一つひとつが、アッラーの完全さの属性 ― 導き、食べさせ、着せ、赦す御方 ― と対になって述べられている。これこそが「自分を知り、そして主を知る」の正しい意味である。**イブン・ラジャブ・ハンバリー**は『ジャーミウ・アル＝ウルーム・ワ・アル＝ヒカム』（第 24 ハディースの注釈）において、**イマーム・アフマド・イブン・ハンバル**の、シャームの人々にとってこれほど尊いハディースはないという言葉を引用し、このハディースがタウヒードとアッラーに対する礼節についての偉大な原則を含んでいることを解説している。

隔てるためではなく、つなぐために読む

凝血章 96:3

ٱقۡرَأۡ وَرَبُّكَ ٱلۡأَكۡرَمُ ٣

読め、「あなたの主は、最高の尊貴であられ、

日本語訳：三田了一 — quran.com/96:3

節の解説

イクラァという命令が二度目に繰り返され、今度はアッラーの属性アル＝アクラム — 最も寛大な御方 — が最上級の形で添えられている。アッラーは寛大なあらゆる者よりもさらに寛大であられる。寛大さとは本来**他者へと流れていくもの**であり、孤立の中には存在しえない。だから、最も寛大な主に結びつけられた読みは、寛大な読み手を生むはずである — 知識にも、時間にも、思いやりにも寛大な読み手を。

真の知識はつなぐ。僕を主とつなぎ、人を人とつなぎ、世代を世代とつなぐ。反対に、損なわれた知識は隔てる — 知的な傲慢を生み、一般の人々を見下し、さらに悪いことには、彼らを欺くために使われる。クルアーン自身、人類が諸民族に分けられたのは「リ・タアーラフー」 — 互いに知り合うためであると述べている（49:13）。

信頼される学者たちの解説

イマーム・イブン・カスィールは、アッラーの寛大さの一つは人間に未知のことを教え、知識によって人間を尊び敬われたことであり、その知識こそがアーダム عَلَيْهِ السَّلَامُ を天使たちから区別したと述べる。**シャイフ・サアディー**は、アル＝アクラムとは広大な属性を持ち、その善と賜物が豊かな御方という意味であり、その最大の賜物の一つが知識であると説明する。タフスィール・イブン・カスィール 96:3 · タフスィール・サアディー 96:3

ハディース ― 『スナン・イブン・マージャ』4036 番

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، حَدَّثَنَا يَزِيدُ بْنُ هَارُونَ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْمَلِكِ بْنُ قُدَامَةَ الْجُمَحِيُّ، عَنْ إِسْحَاقَ بْنِ أَبِي الْفُرَاتِ، عَنِ الْمَقْبُرِيِّ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ ـ صلى الله عليه وسلم ـ " سَيَأْتِي عَلَى النَّاسِ سَنَوَاتٌ خَدَّاعَاتٌ يُصَدَّقُ فِيهَا الْكَاذِبُ وَيُكَذَّبُ فِيهَا الصَّادِقُ وَيُؤْتَمَنُ فِيهَا الْخَائِنُ وَيُخَوَّنُ فِيهَا الأَمِينُ وَيَنْطِقُ فِيهَا الرُّوَيْبِضَةُ قِيلَ وَمَا الرُّوَيْبِضَةُ قَالَ الرَّجُلُ التَّافِهُ فِي أَمْرِ الْعَامَّةِ " .

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人々に欺きに満ちた年月がやって来る。その時、嘘つきが信じられ、正直な者が嘘つきとされる。裏切り者が信頼され、信頼できる者が裏切り者とみなされる。そしてルワイビダが語るようになる。」「ルワイビダとは誰ですか？」と尋ねられると、彼は言われた。「公の事柄について語る、取るに足らない者（知識も資格もない者）である。」

伝承経路： イマーム・イブン・マージャの伝承：アブー・バクル・イブン・アビー・シャイバ ← ヤズィード・イブン・ハールーン ← アブドゥルマリク・イブン・クダーマ・ジュマヒー ← イスハーク・イブン・アビー・フラート ← サイード・マクブリー ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・イブン・マージャが『スナン・イブン・マージャ』「試練の書」、「時代の苦難」の章、ハディース 4036 番に伝える。

判定： ダールッサラーム版によればハサン（sunnah.com の表示による）。シャイフ・アルバーニーによればサヒーフ（『サヒーフ・イブン・マージャ』）。正直な注記：この伝承経路には評価の分かれるアブドゥルマリク・イブン・クダーマが含まれているが、このハディースは『ムスナド・アフマド』の別の経路によって補強されている。

ソース：https://sunnah.com/ibnmajah:4036

欺きの年月のハディースについての解説

このハディースは現代のジャーヒリーヤの一つの形を描いている。**情報の混乱**である。嘘つきが信頼され、正直な者が疑われ、ルワイビダ ― 知識も資格もない者 ― が公の事柄について語る。**イブン・アスィール**は『アン＝ニハーヤ・フィー・ガリーブ・アル＝ハディース』において、ルワイビダはラービダの指小形（タスギール）

であり、気高い事柄から「座り込んで」それを得ようと努めない弱い者のことだが、その者が自分の分野ではない重大な事柄について語るのだと説明している。ソーシャルメディアの時代、この描写はまさに身近である。誰でも「発信」できるが、読む者が皆ふるいにかけるわけではない。その処方箋は真のイクラァである ― 主の御名によって、知識への誠実さをもって、そして部屋章 49:6 が命じるように確認（タバイユン）をもって読むことである。

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』2722 番

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، وَإِسْحَاقُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ، وَمُحَمَّدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ نُمَيْرٍ، - وَاللَّفْظُ لاِبْنِ نُمَيْرٍ - قَالَ إِسْحَاقُ أَخْبَرَنَا وَقَالَ الآخَرَانِ، حَدَّثَنَا أَبُو مُعَاوِيَةَ، عَنْ عَاصِمٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ الْحَارِثِ، وَعَنْ أَبِي عُثْمَانَ النَّهْدِيِّ، عَنْ زَيْدِ بْنِ أَرْقَمَ، قَالَ لاَ أَقُولُ لَكُمْ إِلاَّ كَمَا كَانَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ كَانَ يَقُولُ « اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنَ الْعَجْزِ وَالْكَسَلِ وَالْجُبْنِ وَالْبُخْلِ وَالْهَرَمِ وَعَذَابِ الْقَبْرِ اللَّهُمَّ آتِ نَفْسِي تَقْوَاهَا وَزَكِّهَا أَنْتَ خَيْرُ مَنْ زَكَّاهَا أَنْتَ وَلِيُّهَا وَمَوْلاَهَا اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنْ عِلْمٍ لاَ يَنْفَعُ وَمِنْ قَلْبٍ لاَ يَخْشَعُ وَمِنْ نَفْسٍ لاَ تَشْبَعُ وَمِنْ دَعْوَةٍ لاَ يُسْتَجَابُ لَهَا ».

日本語訳：

ザイド・イブン・アルカム رضى الله عنه は言った。私はあなたがたに、アッラーの使徒 ﷺ が言っておられたことだけを言おう。彼はこう祈っておられた。「アッラーよ、私は無力、怠惰、臆病、吝嗇、老衰、そして墓の懲罰からあなたに守りを求めます。アッラーよ、私の魂にその敬虔さを授け、それを清めてください。あなたこそそれを清める最良の御方、あなたこそその守護者であり主です。アッラーよ、私は役に立たない知識、謙虚にならない心、決して満たされない魂、そして聞き届けられない祈りから、あなたに守りを求めます。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：アブー・バクル・イブン・アビー・シャイバ、イスハーク・イブン・イブラーヒーム（イブン・ラーハワイフ）と ムハンマド・イブン・アブドゥッラー・イブン・ヌマイル ← アブー・ムアーウィヤ ← アースィム・アフワル ← アブドゥッラー・イブン・ハーリス と アブー・ウスマーン・ナフディー ← ザイド・イブン・アルカム رضى الله عنه ← アッラーの使徒 ﷺ。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「唱念・祈願・悔悟・赦しを請うことの書」、「行いの悪から守りを求めること」の章、ハディース 2722 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2722

役に立たない知識からの守りを求める祈りについての解説

アッラーの使徒 ﷺ は四つのことから守りを求められたが、そのすべてが「断たれたつながり」に関わっている。役に立たない知識（行いから断たれている）、謙虚にならない心（アッラーから断たれている）、決して満たされない魂（満足から断たれている）、聞き届けられない祈り（天から断たれている）である。**イブン・ラジャブ・ハンバリー**は小論『ファドル・イルム・アッ＝サラフ・アラー・アル＝ハラフ』において、役に立つ知識とは、アッラーを知り、アッラーを畏れ、愛し、アッラーの前にへりくだることを実らせる知識であり、舌の上にとどまって心に届かない知識は、その持ち主に対する証拠となると説明している。

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』2586A 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ نُمَيْرٍ، حَدَّثَنَا أَبِي، حَدَّثَنَا زَكَرِيَّاءُ، عَنِ الشَّعْبِيِّ، عَنِ النُّعْمَانِ بْنِ بَشِيرٍ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " مَثَلُ الْمُؤْمِنِينَ فِي تَوَادِّهِمْ وَتَرَاحُمِهِمْ وَتَعَاطُفِهِمْ مَثَلُ الْجَسَدِ إِذَا اشْتَكَى مِنْهُ عُضْوٌ تَدَاعَى لَهُ سَائِرُ الْجَسَدِ بِالسَّهَرِ وَالْحُمَّى " .

日本語訳：

ヌウマーン・イブン・バシール رضى الله عنهما は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「互いに愛し合い、慈しみ合い、思いやり合う信仰者たちのたとえは、一つの体のようである。その一部が痛みを訴えると、体全体が不眠と熱をもってそれに応えるのである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ムハンマド・イブン・アブドゥッラー・イブン・ヌマイル ← その父 アブドゥッラー・イブン・ヌマイル ← ザカリーヤー・イブン・アビー・ザーイダ ← アーミル・シャアビー ← ヌウマーン・イブン・バシール رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「善行・礼儀・親族の絆の書」、「信仰者同士の慈悲・思いやり・助け合い」の章、ハディース 2586a 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正） ― ムッタファク・アライヒ（『サヒーフ・ブハーリー』6011 番にもある）。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2586a

イマーム・ナワウィーは『サヒーフ・ムスリム』の注釈において、これらのハディースがムスリム同士の権利の大きさを示し、罪とならない事柄において互いに愛し合い、優しく接し、助け合うことを奨励していると説明する。「最も寛大なあなたの主」から生まれた知識は、その読み手を、ウンマという「体」の他の部分の痛みに、より敏感にするはずである。

ハディース ― 『スナン・イブン・マージャ』4032 番

حَدَّثَنَا عَلِيُّ بْنُ مَيْمُونٍ الرَّقِّيُّ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْوَاحِدِ بْنُ صَالِحٍ، حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ بْنُ يُوسُفَ، عَنِ الأَعْمَشِ، عَنْ يَحْيَى بْنِ وَثَّابٍ، عَنِ ابْنِ عُمَرَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ ـ صلى الله عليه وسلم ـ " الْمُؤْمِنُ الَّذِي يُخَالِطُ النَّاسَ وَيَصْبِرُ عَلَى أَذَاهُمْ أَعْظَمُ أَجْرًا مِنَ الْمُؤْمِنِ الَّذِي لاَ يُخَالِطُ النَّاسَ وَلاَ يَصْبِرُ عَلَى أَذَاهُمْ " .

日本語訳：

イブン・ウマル رضى الله عنهما は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人々と交わり、彼らから受ける害に耐える信仰者は、人々と交わらず、彼らの害に耐えることもない信仰者よりも、報奨が大きい。」

伝承経路： イマーム・イブン・マージャの伝承：アリー・イブン・マイムーン・ラッキー ← アブドゥルワーヒド・イブン・サーリフ ← イスハーク・イブン・ユースフ・アズラク ← アアマシュ ← ヤフヤー・イブン・ワッサーブ ← アブドゥッラー・イブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・イブン・マージャが『スナン・イブン・マージャ』「試練の書」、「試練に見舞われたときの忍耐」の章、ハディース 4032 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正） ― ダールッサラーム版（sunnah.com の表示による）およびシャイフ・アルバーニーによる。

ソース：https://sunnah.com/ibnmajah:4032

イマーム・ナワウィーはこの意味を『リヤード・アッ＝サーリヒーン』の「人々と交わることの徳」の章に置いている。すなわち、集団礼拝や知識と唱念の集いに参加し、病人を見舞うことなどである。彼は、他者に益をもたらし忍耐できる者にとっては、このように交わることのほうが優れていると強調している ― 信仰を危うくする試練の時を除いて。自分の知識とともに引きこもる読み手は、イクラァの報奨の半分を失うのである。

科学的知見：社会的なつながりと生存

Holt-Lunstad、Smith、Layton（2010）による大規模なメタ分析は、308,849 人の参加者を含む 148 の研究をまとめ、社会的なつながりがより強い人々は、研究期間中に生存している可能性が 50%高いことを見出した。この効果は喫煙のようなよく知られた死亡の危険因子に匹敵し、社会への総合的な統合によって測定したときに最も強かった。この知見は、ウンマを「一つの体」とする預言者 ﷺ の描写、そして人々と交わり忍耐する信仰者の徳と調和している。

研究文献：

Holt-Lunstad J, Smith TB & Layton JB (2010). Social relationships and mortality risk: a meta-analytic review. PLoS Medicine 7(7):e1000316. https://doi.org/10.1371/journal.pmed.1000316

筆（カラム）と読むための媒体の役割

凝血章 96:4

ٱلَّذِى عَلَّمَ بِٱلْقَلَمِ ۝٤

筆によって（書くことを）教えられた御方。

日本語訳：三田了一 — quran.com/96:4

節の解説

啓示の最初の五節で、唯一言及されている「道具」は**カラム**（筆）である。それが、口承の記憶により多く頼っていた社会の、読み書きのできない預言者に下されたことを思うと、これは実に驚くべきことである。アッラーはご自身を「筆によって教えられた」主として紹介され — 知識が書くことによって守られ、広められ、受け継がれていくことを示唆された。のちにクルアーンそのものがムスハフに編纂され、スンナはハディース集に記録されたのである。

信頼される学者たちの解説

イマーム・クルトゥビーは**カターダ**の言葉を引用している。筆はアッラーからの非常に大きな恵みである。もし筆がなければ、宗教は立たず、生活もよいものにはならなかっただろう。**イマーム・イブン・カスィール**はまた、知識はときに心の中に、ときに舌の上に、ときに文字の中にあり、文字は他の二つを含むが、その逆はないと説明している。タフスィール・イブン・カスィール 96:4 · タフスィール・クルトゥビー 96:4

ハディース — 『スナン・アビー・ダーウード』4700 番

حَدَّثَنَا جَعْفَرُ بْنُ مُسَافِرٍ الْهُذَلِيُّ، حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ حَسَّانَ، حَدَّثَنَا الْوَلِيدُ بْنُ رَبَاحٍ، عَنْ إِبْرَاهِيمَ بْنِ أَبِي عَبْلَةَ، عَنْ أَبِي حَفْصَةَ، قَالَ قَالَ عُبَادَةُ بْنُ الصَّامِتِ لِابْنِهِ يَا بُنَيَّ إِنَّكَ لَنْ

تَجِدَ طَعْمَ حَقِيقَةِ الإِيمَانِ حَتَّى تَعْلَمَ أَنَّ مَا أَصَابَكَ لَمْ يَكُنْ لِيُخْطِئَكَ وَمَا أَخْطَأَكَ لَمْ يَكُنْ لِيُصِيبَكَ سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " إِنَّ أَوَّلَ مَا خَلَقَ اللَّهُ الْقَلَمَ فَقَالَ لَهُ اكْتُبْ . قَالَ رَبِّ وَمَاذَا أَكْتُبُ قَالَ اكْتُبْ مَقَادِيرَ كُلِّ شَىْءٍ حَتَّى تَقُومَ السَّاعَةُ " . يَا بُنَىَّ إِنِّي سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " مَنْ مَاتَ عَلَى غَيْرِ هَذَا فَلَيْسَ مِنِّي " .

日本語訳：

アブー・ハフサは言った。ウバーダ・イブン・サーミト رضى الله عنه は息子に言った。「息子よ、あなたは、自分に降りかかったことは決してあなたを外れることはなく、あなたを外れたことは決してあなたに降りかかることはなかったと知るまで、信仰の真髄の甘さを味わうことはない。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。『アッラーが最初に創られたものは筆（カラム）である。アッラーはそれに言われた。書け！筆は言った。わが主よ、何を書けばよいのですか？アッラーは言われた。審判の時が来るまでのあらゆるものの定めを書け。』息子よ、私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。『これ以外の（信念の）上に死ぬ者は、私の仲間ではない。』」

伝承経路： イマーム・アブー・ダーウードの伝承：ジャアファル・イブン・ムサーフィル・フザリー ← ヤフヤー・イブン・ハッサーン ← ワリード・イブン・ラバーフ ← イブラーヒーム・イブン・アビー・アブラ ← アブー・ハフサ ← ウバーダ・イブン・サーミト رضى الله عنه。

出典： イマーム・アブー・ダーウードが『スナン・アビー・ダーウード』「スンナの書」、「定め（カダル）について」の章、ハディース 4700 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）ーシャイフ・アルバーニーによる判定（sunnah.com の表示による）。

ソース：https://sunnah.com/abudawud:4700

このハディースは筆を非常に高い位置に置いている。それは、あらゆるものの定めを**書く**よう命じられた最初の被造物なのである。**イマーム・イブン・カスィール**は筆章を解釈する際にこのハディースを挙げている。守られた書板（ラウフ・マフフーズ）から私たちの手の中のムスハフに至るまで、書くことはアッラーがご自身の知識を守るために選ばれた媒体なのである。

ハディース ―『スナン・アビー・ダーウード』3646 番

حَدَّثَنَا مُسَدَّدٌ، وَأَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ قَالاَ حَدَّثَنَا يَحْيَى، عَنْ عُبَيْدِ اللَّهِ بْنِ الأَخْنَسِ، عَنِ الْوَلِيدِ بْنِ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ أَبِي مُغِيثٍ، عَنْ يُوسُفَ بْنِ مَاهَكَ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَمْرٍو، قَالَ كُنْتُ أَكْتُبُ كُلَّ شَىْءٍ أَسْمَعُهُ مِنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم أُرِيدُ حِفْظَهُ فَنَهَتْنِي قُرَيْشٌ وَقَالُوا أَتَكْتُبُ كُلَّ شَىْءٍ تَسْمَعُهُ وَرَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم بَشَرٌ يَتَكَلَّمُ فِي الْغَضَبِ وَالرِّضَا فَأَمْسَكْتُ عَنِ الْكِتَابِ فَذَكَرْتُ ذَلِكَ لِرَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فَأَوْمَأَ بِأُصْبُعِهِ إِلَى فِيهِ فَقَالَ " اكْتُبْ فَوَالَّذِي نَفْسِي بِيَدِهِ مَا يَخْرُجُ مِنْهُ إِلاَّ حَقٌّ " ‏.

日本語訳：

アブドゥッラー・イブン・アムル رضى الله عنهما は言った。「私はアッラーの使徒 ﷺ から聞いたことをすべて書き留めていた。覚えておきたかったからである。するとクライシュ族の人々が私を止めて言った。『あなたは聞いたことをすべて書き留めるのか。アッラーの使徒 ﷺ は人間であり、怒っているときにも穏やかなときにも話されるのだ。』そこで私は書くのをやめ、そのことをアッラーの使徒 ﷺ に話した。すると彼は指でご自分の口を指して言われた。『書け！わが魂をその御手に握る御方にかけて、ここからは真実しか出てこない。』」

伝承経路： イマーム・アブー・ダーウードの伝承：ムサッダド と アブー・バクル・イブン・アビー・シャイバ ← ヤフヤー・イブン・サイード・カッターン ← ウバイドゥッラー・イブン・アフナス ← ワリード・イブン・アブドゥッラー・イブン・アビー・ムギース ← ユースフ・イブン・マーハク ← アブドゥッラー・イブン・アムル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・アブー・ダーウードが『スナン・アビー・ダーウード』「知識の書」、「知識を書き記すこと」の章、ハディース 3646 番に伝える。

判定：サヒーフ（真正） ― シャイフ・アルバーニーによる判定（sunnah.com の表示による）。

ソース：https://sunnah.com/abudawud:3646

イマーム・ナワウィーは『サヒーフ・ムスリム』の注釈において、イスラーム初期にハディースを書くことが禁じられたこと（『サヒーフ・ムスリム』3004 番）を、学者たちはクルアーンと混同されるおそれのためと理解しており、そのおそれがな

くなると ― このハディースのように ― 許可が与えられ、最終的にムスリムの合意（イジュマー）によって知識を書くことが許されると確定したと説明している。正しい媒体は、誠実に用いられるとき、真理の守り手となるのである。

筆章 68:1

نٓ وَٱلۡقَلَمِ وَمَا يَسۡطُرُونَ ١

ヌーン。筆に誓けて、また書いたものにおいて誓う。

日本語訳：三田了一 ― quran.com/68:1

節の解説と学者たちの解説

アッラーは筆と書かれたものにかけて**誓っておられる**。アラビア語の用法では、アッラーは偉大なものにかけてしか誓われない。**イマーム・イブン・カスィール**は、この節の表面的な意味は書くために使われる種類の筆であり、「筆によって教えられた」という御言葉と同じであって、この誓いは、知識が得られる手段である文字を教えられた恵みを被造物に思い起こさせるものだと説明している。イブン・カスィールはまた、アッラーが定めを書くよう命じられた筆を指すという見解にも触れている。タフスィール・イブン・カスィール 68:1 **シャイフ・サアディー**は、筆と書くことにかけた誓いにはアッラーの力の印が含まれていると述べる。それによってさまざまな種類の知識が守られるからである。タフスィール・サアディー 68:1

ハディース ― 『ムスナド・アフマド』3870 番

حَدَّثَنَا أَبُو أَحْمَدَ الزُّبَيْرِيُّ حَدَّثَنَا بَشِيرُ بْنُ سَلْمَانَ عَنْ سَيَّارٍ عَنْ طَارِقِ بْنِ شِهَابٍ قَالَ كُنَّا عِنْدَ عَبْدِ اللَّهِ جُلُوسًا فَجَاءَ رَجُلٌ فَقَالَ قَدْ أُقِيمَتْ الصَّلَاةُ فَقَامَ وَقُمْنَا مَعَهُ فَلَمَّا دَخَلْنَا

الْمَسْجِدَ رَأَيْنَا النَّاسَ رُكُوعًا فِي مُقَدَّمِ الْمَسْجِدِ فَكَبَّرَ وَرَكَعَ وَرَكَعْنَا ثُمَّ مَشَيْنَا وَصَنَعْنَا مِثْلَ الَّذِي صَنَعَ فَمَرَّ رَجُلٌ يُسْرِعُ فَقَالَ عَلَيْكَ السَّلَامُ يَا أَبَا عَبْدِ الرَّحْمَنِ فَقَالَ صَدَقَ اللَّهُ وَرَسُولُهُ فَلَمَّا صَلَّيْنَا وَرَجَعْنَا دَخَلَ إِلَى أَهْلِهِ جَلَسْنَا فَقَالَ بَعْضُنَا لِبَعْضٍ أَمَا سَمِعْتُمْ رَدَّهُ عَلَى الرَّجُلِ صَدَقَ اللَّهُ وَبَلَّغَتْ رُسُلُهُ أَيُّكُمْ يَسْأَلُهُ فَقَالَ طَارِقٌ أَنَا أَسْأَلُهُ فَسَأَلَهُ حِينَ خَرَجَ فَذَكَرَ عَنْ النَّبِيِّ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ أَنَّ بَيْنَ يَدَيْ السَّاعَةِ تَسْلِيمَ الْخَاصَّةِ وَفُشُوَّ التِّجَارَةِ حَتَّى تُعِينَ الْمَرْأَةُ زَوْجَهَا عَلَى التِّجَارَةِ وَقَطْعَ الْأَرْحَامِ وَشَهَادَةَ الزُّورِ وَكِتْمَانَ شَهَادَةِ الْحَقِّ وَظُهُورَ الْقَلَمِ

日本語訳：

ターリク・イブン・シハーブは言った。私たちがアブドゥッラー（イブン・マスウード）رضى الله عنه のもとに座っていると、一人の男が来て「礼拝のイカーマがかかりました」と言った。そこで彼は立ち上がり、私たちも一緒に立ち上がった。モスクに入ると、人々がモスクの前方でルクーウ（立礼）をしているのが見えた。彼はタクビールを唱えてルクーウをし、私たちもルクーウをし、それから（列まで）歩いて彼と同じようにした。すると一人の男が急いで通り過ぎながら「アライカ・ッサラーム（あなたに平安あれ）、アブー・アブドゥッラフマーンよ」と言った。彼は言った。「アッラーとその使徒は真実を語られた。」礼拝を終えて帰ると、彼は家族のもとへ入り、私たちは座っていた。私たちのある者が他の者に言った。「あの男への彼の返事『アッラーは真実を語られ、その使徒たちは伝えた』を聞かなかったか？誰が彼に尋ねるか？」ターリクは言った。「私が尋ねよう。」そして彼が出てきたときに尋ねた。すると彼は預言者ﷺからこう伝えた。「審判の時の前には、（知り合いなど）特定の人にだけ挨拶すること、妻が夫の商売を手伝うほどに商売が広まること、親族の絆が断たれること、偽りの証言、真実の証言を隠すこと、そして筆（書くこと）が広まることが起こる。」

伝承経路： イマーム・アフマドの伝承：アブー・アフマド・ズバイリー ← バシール・イブン・サルマーン ← サイヤール ← ターリク・イブン・シハーブ ← アブドゥッラー・イブン・マスウード رضى الله عنه ← 預言者 ﷺ。

注：アラビア語本文は『ムスナド・アフマド』から写したものである（シャイフ・シュアイブ・アルナーウートが用いたリサーラ版の番号で 3870 番、旧番号で 3676 番）。準備の時点で sunnah.com の『ムスナド・アフマド』のページを開くことができなかったため、以下の主な情報源は dorar.net である。伝承者の名前は sunnah.com の同じ伝承者のページにリンクしている（『ジ

ャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2326 番と『サヒーフ・ブハーリー』3984 番の伝承経路で確認）。

出典： イマーム・アフマド・イブン・ハンバルが『アル＝ムスナド』「アブドゥッラー・イブン・マスウードのムスナド」、ハディース 3870 番に伝える。ブハーリーの『アル＝アダブ・アル＝ムフラド』（1049 番）とハーキム（7043 番）も伝えている。

判定： シャイフ・シュアイブ・アルナーウートによればハサン（『タフリージュ・アル＝ムスナド』3870 番）。シャイフ・アフマド・シャーキルによればサヒーフ（『タフリージュ・アル＝ムスナド』5/333）。シャイフ・アルバーニーは「その伝承経路はムスリムの条件によりサヒーフである」と述べた（『アッ＝スィルスィラ・アッ＝サヒーハ』647 番）。正直な注記：『サヒーフ・アル＝ジャーミウ』3011 番の内容は、本書の準備の時点では確認できなかった。

確認：dorar.net ― 『タフリージュ・アル＝ムスナド』（シュアイブ・アルナーウート）3870 番

確認：dorar.net ― 『アッ＝スィルスィラ・アッ＝サヒーハ』（アルバーニー）647 番

確認：dorar.net ― 『サヒーフ・アル＝アダブ・アル＝ムフラド』（アルバーニー）801 番

ソース：https://dorar.net/h/o6m7ZjUH

「筆の広まり（ズフール・アル＝カラム）」のハディースについての解説

イブン・マスウード رضى الله عنه のこのハディースは、ズフール・アル＝カラム ― 書くことの広まり ― を、親族の絆の断絶や偽りの証言とともに、審判の時の前の印の一つとして挙げている。学者たちは、非難されているのは筆そのものではないと理解している。アッラーは凝血章で筆を尊び、筆章で筆にかけて誓っておられるからである。示されているのは、**書かれたものが非常に多くなっても、知識と誠実さを伴わない**状態である ― 読み物はあふれかえるのに、真実はますます隠され、偽りの証言はますます広まる。毎日何百万もの文章がインターネット上で発信される今日、このハディースの意味は痛切に感じられる。

ここで二つの節とハディースが出会う。**読むための媒体は中立である。**その価値は、それに伴う「名」によって決まる。主の御名によって動かされる筆は啓示と知識を記し、欲望によって動かされる筆は嘘を広める。だから読み書きするすべての者は

― 筆であれ、キーボードであれ、タッチスクリーンであれ ― 自問しなければならない。私は誰の名において書き、読んでいるのか、と。

科学的知見：手書きはより広い脳のネットワークを活性化する

Van der Weel と Van der Meer（2024）は、36 人の大学生がデジタルペンで手書きで単語を書くときと、キーボードでタイプするときの脳活動を、高密度脳波計（256 チャンネル）で記録した。手書きは、頭頂部と中心部において、はるかに広範な脳の結合（コネクティビティ）パターンを生み出した。それは記憶の形成や新しい情報の符号化に重要なシータ波／アルファ波の周波数帯においてであった。研究者たちは、子どもたちが早い時期から手書きの活動に触れるよう提言している。この知見は「筆によって教えられた」というアッラーの御言葉に新たな次元を与える。学ぶために用いる媒体が、知識がどのように消化されるかに影響するのである。

研究文献：

Van der Weel FRR & Van der Meer ALH (2024). Handwriting but not typewriting leads to widespread brain connectivity: a high-density EEG study with implications for the classroom. Frontiers in Psychology 14:1219945. https://doi.org/10.3389/fpsyg.2023.1219945

私たちをアッラーのもとへ連れ帰る知識

凝血章 96:5

عَلَّمَ ٱلْإِنسَٰنَ مَا لَمْ يَعْلَمْ ۝٥

人間に未知なることを教えられた御方である。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/96:5

節の解説

第五節は、最初の啓示の連なりを一つの承認で締めくくる。**人間のあらゆる知識はアッラーが教えられたものである。**人間が知っていることはすべて — アーダム عَلَيْهِ السَّلَامُ に教えられた名前から最新の科学的発見に至るまで — もとは「マー・ラム・ヤアラム」、かつて知られていなかったことであり、それをアッラーが教えられたのである。知識がアッラーから来るのなら、真の知識とはアッラーのもとへ**連れ戻す**知識である。人をアッラーから遠ざける知識は、帰り道を見失った知識なのである。

信頼される学者たちの解説

イマーム・イブン・カスィールは、アッラーは人間に未知のことを教えることによって人間を尊ばれ、それこそがアーダム عَلَيْهِ السَّلَامُ の天使たちに対する栄誉であったと述べる。**シャイフ・サアディー**は、アッラーは何も知らない状態で人間を母の胎から出され、聴覚と視覚と心を与え、知識への道を容易にされたのだから、人間の義務はこの恵みに感謝することだと説明している。タフスィール・イブン・カスィール 96:5 · タフスィール・サアディー 96:5

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』1905A 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ حَبِيبٍ الْحَارِثِيُّ، حَدَّثَنَا خَالِدُ بْنُ الْحَارِثِ، حَدَّثَنَا ابْنُ جُرَيْجٍ، حَدَّثَنِي يُونُسُ بْنُ يُوسُفَ، عَنْ سُلَيْمَانَ بْنِ يَسَارٍ، قَالَ تَفَرَّقَ النَّاسُ عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، فَقَالَ لَهُ نَاتِلُ أَهْلِ

الشَّامِ أَيُّهَا الشَّيْخُ حَدِّثْنَا حَدِيثًا سَمِعْتَهُ مِنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ نَعَمْ سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " إِنَّ أَوَّلَ النَّاسِ يُقْضَى يَوْمَ الْقِيَامَةِ عَلَيْهِ رَجُلٌ اسْتُشْهِدَ فَأُتِيَ بِهِ فَعَرَّفَهُ نِعَمَهُ فَعَرَفَهَا قَالَ فَمَا عَمِلْتَ فِيهَا قَالَ قَاتَلْتُ فِيكَ حَتَّى اسْتُشْهِدْتُ . قَالَ كَذَبْتَ وَلَكِنَّكَ قَاتَلْتَ لأَنْ يُقَالَ جَرِيءٌ . فَقَدْ قِيلَ . ثُمَّ أُمِرَ بِهِ فَسُحِبَ عَلَى وَجْهِهِ حَتَّى أُلْقِيَ فِي النَّارِ وَرَجُلٌ تَعَلَّمَ الْعِلْمَ وَعَلَّمَهُ وَقَرَأَ الْقُرْآنَ فَأُتِيَ بِهِ فَعَرَّفَهُ نِعَمَهُ فَعَرَفَهَا قَالَ فَمَا عَمِلْتَ فِيهَا قَالَ تَعَلَّمْتُ الْعِلْمَ وَعَلَّمْتُهُ وَقَرَأْتُ فِيكَ الْقُرْآنَ . قَالَ كَذَبْتَ وَلَكِنَّكَ تَعَلَّمْتَ الْعِلْمَ لِيُقَالَ عَالِمٌ . وَقَرَأْتَ الْقُرْآنَ لِيُقَالَ هُوَ قَارِئٌ . فَقَدْ قِيلَ ثُمَّ أُمِرَ بِهِ فَسُحِبَ عَلَى وَجْهِهِ حَتَّى أُلْقِيَ فِي النَّارِ . وَرَجُلٌ وَسَّعَ اللَّهُ عَلَيْهِ وَأَعْطَاهُ مِنْ أَصْنَافِ الْمَالِ كُلِّهِ فَأُتِيَ بِهِ فَعَرَّفَهُ نِعَمَهُ فَعَرَفَهَا قَالَ فَمَا عَمِلْتَ فِيهَا قَالَ مَا تَرَكْتُ مِنْ سَبِيلٍ تُحِبُّ أَنْ يُنْفَقَ فِيهَا إِلاَّ أَنْفَقْتُ فِيهَا لَكَ قَالَ كَذَبْتَ وَلَكِنَّكَ فَعَلْتَ لِيُقَالَ هُوَ جَوَادٌ . فَقَدْ قِيلَ ثُمَّ أُمِرَ بِهِ فَسُحِبَ عَلَى وَجْهِهِ ثُمَّ أُلْقِيَ فِي النَّارِ " .

日本語訳：

スライマーン・イブン・ヤサールは言った。人々がアブー・フライラ رضى الله عنه のもとから散っていくと、シャームの人々の（指導者）ナーティルが彼に言った。「長老よ、アッラーの使徒 ﷺ から聞いたハディースを一つ語ってください。」彼は言った。「よろしい。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。『復活の日に最初に裁かれる者は、殉教した一人の男である。彼は連れて来られ、アッラーが彼にご自分の恵みを示されると、彼はそれを認める。アッラーは言われる。それで何をしたのか？彼は言う。あなたのために戦い、殉教しました。アッラーは言われる。嘘をついている。あなたは「勇敢な者だ」と言われるために戦ったのだ。そしてそれはすでに言われた。それから命じられて、彼は顔を引きずられ、火獄に投げ込まれる。また、知識を学び、それを教え、クルアーンを読んだ男。彼は連れて来られ、アッラーが彼にご自分の恵みを示されると、彼はそれを認める。アッラーは言われる。それで何をしたのか？彼は言う。あなたのために知識を学び、それを教え、クルアーンを読みました。アッラーは言われる。嘘をついている。あなたは「学者だ」と言われるために知識を学び、「読誦者だ」と言われるためにクルアーンを読んだのだ。そしてそれはすでに言われた。それから命じられて、彼は顔を引きずられ、火獄に投げ込まれる。また、アッラーが糧を広げ、あ

らゆる種類の富を与えられた男。彼は連れて来られ、アッラーが彼にご自分の恵みを示されると、彼はそれを認める。アッラーは言われる。それで何をしたのか？彼は言う。あなたが財を費やすことを好まれる道で、あなたのために費やさなかった道は一つもありません。アッラーは言われる。嘘をついている。あなたは「気前のよい者だ」と言われるためにそうしたのだ。そしてそれはすでに言われた。それから命じられて、彼は顔を引きずられ、そして火獄に投げ込まれる。』」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・ハビーブ・ハーリスィー ← ハーリド・イブン・ハーリス ← イブン・ジュライジュ ← ユーヌス・イブン・ユースフ ← スライマーン・イブン・ヤサール ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「統治の書」、「見せかけと評判のために戦う者は火獄に値する」の章、ハディース 1905a 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）ー『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:1905a

このハディースは、**アッラーのもとへ連れ帰らない**知識についての最も厳しい警告である。この学者と読誦者は「読んだ」ーそれどころかクルアーンを教え、暗記さえしたーしかしその読みは「主の御名によって」ではなく、自分自身の名によって、学者と呼ばれるためのものだった。**イマーム・ナワウィー**は『サヒーフ・ムスリム』の注釈において、このハディースが見せかけ（リヤー）の禁止がいかに重く、その罰がいかに大きいかを示し、行いにおける誠実さを奨励していると述べるー明証章 98:5 のアッラーの御言葉のように。同じハディースのティルミズィーの伝承では、このハディースが伝えられたとき、ムアーウィヤ رضى الله عنه が激しく泣いたと述べられている。

イムラーン家章 3:79

مَا كَانَ لِبَشَرٍ أَن يُؤْتِيَهُ ٱللَّهُ ٱلْكِتَٰبَ وَٱلْحُكْمَ وَٱلنُّبُوَّةَ ثُمَّ يَقُولَ لِلنَّاسِ كُونُوا۟ عِبَادًا لِّى مِن دُونِ ٱللَّهِ وَلَٰكِن كُونُوا۟ رَبَّٰنِيِّۦنَ بِمَا كُنتُمْ تُعَلِّمُونَ ٱلْكِتَٰبَ وَبِمَا كُنتُمْ تَدْرُسُونَ ﴿٧٩﴾

啓典と英知と預言者としての天分をアッラーからいただいた一人の人間でありながら、後になって人びとに向い、「あなたがたはアッラーの外に、わたしを崇拝しなさい。」とは言えない。むしろ「あなたがたは、主の忠実なしもべとなりなさい。あなたがたは啓典を教えられているのである。それを誠実に学びなさい。」と（言うべきである）。

日本語訳：三田了一 — quran.com/3:79

節の解説と学者たちの解説

この節は、啓典を学び教える者の最終目標を定めている。**ラッバーニーユーン** — アッ＝ラッブ（主）に帰属する人々 — になることである。挙げられている理由に注目してほしい。「ビマー・クントゥム・トゥアッリムーナ・ル＝キターバ・ワ・ビマー・クントゥム・タドゥルスーン」 — あなたがたが教え、また学んでいるからである。学び教えるという過程そのものが、主に近い人間を生み出すはずなのである。

アサル（ハディースではない）： イマーム・ブハーリーは自身の『サヒーフ』の「知識の書」第 10 章「言葉と行いの前の知識」に、この節についてのイブン・アッバース رضى الله عنهما の言葉を置いている。「クーヌー・ラッバーニーイーン：（すなわち）賢明で、フィクフに通じた者となれ。」また、こうも言われている。「アッ＝ラッバーニーとは、大きな知識の前に小さな知識で人々を育てる者である。」『サヒーフ・ブハーリー』知識の書

وَقَالَ ابْنُ عَبَّاسٍ: ﴿كُونُوا رَبَّانِيِّينَ﴾ حُكَمَاءَ فُقَهَاءَ. وَيُقَالُ الرَّبَّانِيُّ الَّذِي يُرَبِّي النَّاسَ بِصِغَارِ الْعِلْمِ قَبْلَ كِبَارِهِ

イマーム・イブン・カスィールは多くの先達（サラフ）から同様の解釈を引用している。ラッバーニーユーンとは、賢明で、寛容で、フィクフに通じた学者たちである。「大きな知識の前に小さな知識で育てる」という解釈は、ラッバーニーな人間がアッラーに近いだけでなく、他の人々を段階的にアッラーのもとへ連れ帰る知恵をも備えていることを示している。タフスィール・イブン・カスィール 3:79

ハディース ー『スナン・アビー・ダーウード』3664 番

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، حَدَّثَنَا سُرَيْجُ بْنُ النُّعْمَانِ، حَدَّثَنَا فُلَيْحٌ، عَنْ أَبِي طُوَالَةَ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ مَعْمَرٍ الأَنْصَارِيِّ، عَنْ سَعِيدِ بْنِ يَسَارٍ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " مَنْ تَعَلَّمَ عِلْمًا مِمَّا يُبْتَغَى بِهِ وَجْهُ اللَّهِ عَزَّ وَجَلَّ لاَ يَتَعَلَّمُهُ إِلاَّ لِيُصِيبَ بِهِ عَرَضًا مِنَ الدُّنْيَا لَمْ يَجِدْ عَرْفَ الْجَنَّةِ يَوْمَ الْقِيَامَةِ " . يَعْنِي رِيحَهَا .

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「偉大で尊厳あるアッラーの御顔を求めるべき知識を、現世の利得を得るためだけに学ぶ者は、復活の日に天国のアルフを見出さない」ー すなわち、その香りである。

伝承経路： イマーム・アブー・ダーウードの伝承：アブー・バクル・イブン・アビー・シャイバ ← スライジュ・イブン・ヌウマーン ← フライフ・イブン・スライマーン ← アブー・トゥワーラ・アブドゥッラー・イブン・アブドゥッラフマーン・アンサーリー ← サイード・イブン・ヤサール ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・アブー・ダーウードが『スナン・アビー・ダーウード』「知識の書」、「アッラー以外のために知識を求めること」の章、ハディース 3664 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）ー シャイフ・アルバーニーによる判定（sunnah.com の表示による）。

ソース：https://sunnah.com/abudawud:3664

このハディースは、連れ帰る知識と道を見失わせる知識との境界線である。ハディースの注釈者たちは、この警告は、宗教の知識のようにアッラーのお喜びのために求められるべき知識が、単に現世の利得を得るための道具にされた場合に特有のものだと説明している。その繊細さに注目してほしい。彼は天国に入るどころか、そ

の香りさえ嗅ぐことがないのである。これは上記の『サヒーフ・ムスリム』1905 番の警告と一致している。

御光章 24:45

وَٱللَّهُ خَلَقَ كُلَّ دَآبَّةٍ مِّن مَّآءٍ ۖ فَمِنْهُم مَّن يَمْشِى عَلَىٰ بَطْنِهِۦ وَمِنْهُم مَّن يَمْشِى عَلَىٰ رِجْلَيْنِ وَمِنْهُم مَّن يَمْشِى عَلَىٰٓ أَرْبَعٍ ۚ يَخْلُقُ ٱللَّهُ مَا يَشَآءُ ۚ إِنَّ ٱللَّهَ عَلَىٰ كُلِّ شَىْءٍ قَدِيرٌ ﴿٤٥﴾

またアッラーは、ありとあらゆる動物を水から創られた。そのあるものは、腹で這い、またあるものは 2 本足で歩き、あるものは 4 つ足で歩く。アッラーは御望みのものを創られる。本当にアッラーは何事につけ全能であられる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/24:45

節の解説と学者たちの解説

この節は、宇宙という書物からの「読み物」の一例である。アッラーはすべてのダーッバ（動く生き物）を**水**から創り、それから多様にされた。腹で這うもの、二本の足で歩くもの、四本の足で歩くものがある。**イマーム・イブン・カスィール**は、この節が、一種類の水から、形・色・動き・静止の異なるさまざまな種類の被造物を創られたアッラーの力の完全さを述べていると説明する。**イマーム・クルトゥビー**は、ここでの「水」はヌトファ（精液）を指すという注釈者たちの見解、また水があらゆる被造物の起源であるという見解を挙げている — 預言者章 21:30 の御言葉「われは水から、凡ての生きものを創った」と一致するものである。タフスィール・イブン・カスィール 24:45 · タフスィール・クルトゥビー 24:45

この節の結び「本当にアッラーは凡てのことに全能であられる」は、読むことの到達点である。生き物の多様性を研究する生物学の学生は、同じ結論にたどり着くはずである。この多様性は偶然ではなく、力の印である。これこそが連れ帰る知識なのである。

ハディース―『サヒーフ・ムスリム』2996番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ رَافِعٍ، وَعَبْدُ بْنُ حُمَيْدٍ، قَالَ عَبْدٌ أَخْبَرَنَا وَقَالَ ابْنُ رَافِعٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّزَّاقِ، أَخْبَرَنَا مَعْمَرٌ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، عَنْ عُرْوَةَ، عَنْ عَائِشَةَ، قَالَتْ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " خُلِقَتِ الْمَلاَئِكَةُ مِنْ نُورٍ وَخُلِقَ الْجَانُّ مِنْ مَارِجٍ مِنْ نَارٍ وَخُلِقَ آدَمُ مِمَّا وُصِفَ لَكُمْ " .

日本語訳：

アーイシャ رضى الله عنها は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「天使たちは光から創られ、ジンは燃えさかる炎から創られ、アーダムはあなたがたに説明されたものから創られた。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ムハンマド・イブン・ラーフィウ と アブド・イブン・フマイド ← アブドゥッラッザーク ← マアマル ← ズフリー ← ウルワ ← アーイシャ رضى الله عنها。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「禁欲と心を和らげることの書」、「さまざまなハディース」の章、ハディース2996番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2996

ハディースの注釈者たちは、「あなたがたに説明されたもの」とは、クルアーンの何か所かで説明されているように土を意味すると説明している。このハディースは、アッラーの創造の元となる素材の多様さ ― 光、火、土、そして水 ― についての御光章 24:45 の描写を補完しており、そのすべてが、アッラーは望まれるものを創られることを示している。

科学的知見：細胞の生命の基盤としての水

Nature Reviews Molecular Cell Biology 誌の総説で、Chaplin（2006）は、水が細胞の中の単なる受け身の「溶媒」ではないことを強調している。その独特な水素結合の性質によって、水は生体分子を形づくり制御し、タンパク質の折りたたみを助け、陽子と電子を運び、さまざまなスケールで情報を伝える。科学が知るいかなる生命も、液体の水なしには機能できない。この事実はアッラーの御言葉と調和している。「アッラーは凡ての動物を水から創られた」（24:45）、「われは水から、凡ての生きものを創った」（21:30）。

研究文献：

Chaplin M (2006). Do we underestimate the importance of water in cell biology? Nature Reviews Molecular Cell Biology 7(11):861–866. https://doi.org/10.1038/nrm2021

結び

簡単な比較

ジャーヒリーヤ	イクラァ（読め）
主の御名なしに読む ― 価値から切り離された知識	主の御名によって読む（96:1）
アッラーを忘れ、そして自分自身を忘れる（59:19）	弱い自分を知り、そしてアッラーを知る（96:2、51:21）
嘘つきが信頼され、ルワイビダが語る（イブン・マージャ 4036）	思いやる知識 ― 一つの体のようなウンマ（ムスリム 2586）
役に立たない知識、謙虚にならない心（ムスリム 2722）	僕を主と、また人と人とをつなぐ知識（96:3）
誠実さを伴わずにあふれる文字（アフマド 3870）	誠実さによって動かされる筆（96:4、68:1）
学者と呼ばれるための知識（ムスリム 1905）	人をラッバーニーにする知識（3:79）
創造主を見ずに宇宙を見る	創造の多様さをアッラーの力の印として読む（24:45）

ジャーヒリーヤは本当に消え去ったことは一度もない。ただ顔を変えるだけである。かつてそれは石の偶像と部族の傲慢という顔をしていた。今日それは、偽りの情報、神なき知識、親族の絆を断ち切る賢さという顔をしているかもしれない。しかし、その処方箋は変わらない。十四世紀以上前にヒラー洞窟で下されたもの — **イクラァ・ビスミ・ラッビク** — あなたの主の御名によって読め。

アッラーが私たちを、その御名によって読み、自分を知ってアッラーを知り、隔てるのではなくつなぎ、誠実に筆を用い、あらゆる知識をアッラーのもとへ帰る道とする読み手としてくださいますように。ラッビ・ズィドニー・イルマー — 主よ、私の知識を増やしてください。

©2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンとタフスィール

聖クルアーン、ウスマーン版テキストと三田了一による日本語訳。https://quran.com

Ibn Kathir, Tafsir al-Qur'an al-'Azim. https://tafsir.app/ibn-katheer/96/1

Al-Qurtubi, al-Jami' li Ahkam al-Qur'an. https://tafsir.app/qurtubi/96/1

'Abd al-Rahman al-Sa'di, Taisir al-Karim al-Rahman. https://tafsir.app/saadi/96/1

ハディース・注釈・典拠

『サヒーフ・ブハーリー』『サヒーフ・ムスリム』『スナン・アビー・ダーウード』『スナン・イブン・マージャ』『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』 ― 本文と伝承経路。https://sunnah.com

『アル＝マウスーア・アル＝ハディースィーヤ』（『ムスナド・アフマド』を含む判定の確認）。https://dorar.net/hadith

イブン・ハジャル・アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー』、ナワウィー『アル＝ミンハージュ・シャルフ・サヒーフ・ムスリム』『リヤード・アッ＝サーリヒーン』および『四十ハディース』の注釈、イブン・ラジャブ・ハンバリー『ジャーミウ・アル＝ウルーム・ワ・アル＝ヒカム』『ファドル・イルム・アッ＝サラフ・アラー・アル＝ハラフ』、イブン・アスィール『アン＝ニハーヤ・フィー・ガリーブ・アル＝ハディース』、シュアイブ・アルナーウート『タフリージュ・アル＝ムスナド』、アルバーニー『アッ＝スィルスィラ・アッ＝サヒーハ』『アッ＝スィルスィラ・アッ＝ダイーファ』、サハーウィー『アル＝マカースィド・アル＝ハサナ』、ムッラー・アリー・カーリー『アル＝アスラール・アル＝マルフーア（アル＝マウドゥーアート・アル＝クブラー）』。

科学研究

Dehaene S et al. (2010). How learning to read changes the cortical networks for vision and language. Science 330(6009):1359–1364. https://doi.org/10.1126/science.1194140

Holt-Lunstad J, Smith TB & Layton JB (2010). Social relationships and mortality risk: a meta-analytic review. PLoS Medicine 7(7):e1000316. https://doi.org/10.1371/journal.pmed.1000316

Van der Weel FRR & Van der Meer ALH (2024). Handwriting but not typewriting leads to widespread brain connectivity: a high-density EEG study with implications for the classroom. Frontiers in Psychology 14:1219945. https://doi.org/10.3389/fpsyg.2023.1219945

Chaplin M (2006). Do we underestimate the importance of water in cell biology? Nature Reviews Molecular Cell Biology 7(11):861–866. https://doi.org/10.1038/nrm2021

支援と寄付

本書はムスリムのために**完全に無料**で公開されており、**決して販売してはならない**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営、さらなる電子書籍の出版のためのご寄付を心より歓迎する ― ただし**義務ではない**。アッラーがすべてのご寄付を、継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）として受け入れてくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

日本語訳：三田了一 ― quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。「本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。」

日本語訳：三田了一 ― quran.com/34:39

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は、アッラーの使徒ﷺがこう言われたと伝えた。「施しは財産を減らさない。赦す僕に、アッラーは尊厳を増すことしかなさらない。そしてアッラーのために謙虚になる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ、クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「善行・礼儀・親族の絆の書」、「赦しと謙虚さの奨励」の章、ハディース 2588 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）ー『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディースー『サヒーフ・ムスリム』1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は、アッラーの使徒ﷺがこう言われたと伝えた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し、役に立つ知識、または彼のために祈る善良な子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ、クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファ

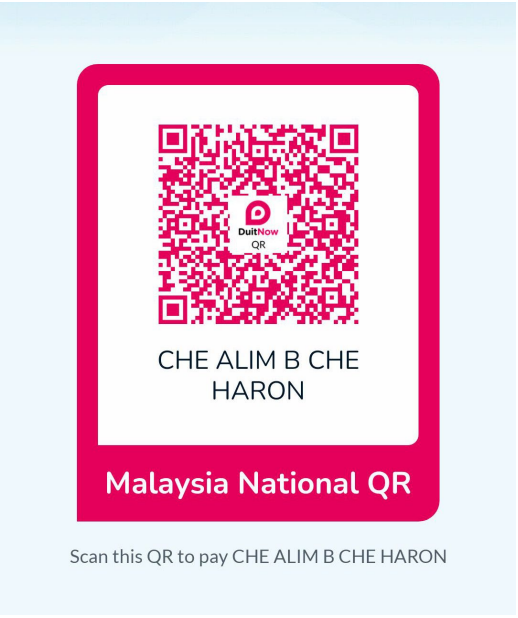
ル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「遺言の書」、「死後に人に届く報奨」の章、ハディース 1631 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）ー『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（アッラーが皆さまに豊かな善で報いてくださいますように）



上の QR コード（DuitNow、マレーシア）を読み取ってご寄付ください。



海外からのご寄付：「寄付する」ボタンをクリックするか、次をご覧ください
paypal.me/quranscience